

東部防災会始動 12月1日三中防災訓練



上左 沢山の中学生の参加 上右 左端閉会挨拶する川島副会長 右隣は竹内会長

吉祥寺東コミュニティ通信
きゅうほ
九浦の家だより

●NO. 98 '13.01.01
吉祥寺東コミュニティ協議会
● 武蔵野市吉祥寺東町
1-12-6
吉祥寺東コミュニティ
センター(九浦の家)
●電話0422-21-4141

東部防災会《訓練》に130名

体験してこれからを組み立てる

十二月1日第三中学校で市の防災課主催の初動訓練が行われました。市内の学校で順次行われ、十月13日に本宿小でも行われた、災害発生時に避難所を開設するまでの訓練で、三中が最終回です。

市防災課、一時避難所となる学校関係者、消防署、警察署と消防団や日赤奉仕団、防災推進員、応急危険度判定員他、コミセンや福祉の会、青少協、PTAなど地域各団体も呼びかけがありました。

東部防災会は、東京都の町会組織のない地域のモデル事業として支援を受けているので、都、コンサルタント、防災課との会議の中で、訓練には地域の方にも参加を呼びかけるチラシ500枚を近隣に配布し、掲示板など60ヶ所にポスターを掲示。



上: 槌子の原理で持ち上げる。中: トイレ組み立て。下: 防災倉庫を開け深井戸の水を使えるようにする。

防災課から学校に依頼し児童と保護者へも呼びかけました。

当日は、三中避難所担当の市若手職員の初動要員7名と共に参加者130名が、防災備蓄倉庫を開いて点検する班、深井戸の水をエンジンにかけて汲出す班、災害時トイレを組み立てる班、炊き出し班、崩れた塀の下から工具を使って救助する班など、適当に分かれた班ながら、どの班も真剣に取り組み「そうか、本番は、自分たちでやるしかないのか」と気付けられた訓練でした。

「こでは自助、共助が大切。避難所では自分たちも気働きて協力して動かなければならない。その時来合わせた経験のない住民でも確実に、手早くできるか、そのためアイデアが次々出されました。

今回画期的だったのは、三中の生徒さんが約20名参加し、大活躍したことです。昼間に防災すると、地域は高齢者とおばさんだけです。中学生の機転がきく頭脳と体力にどうしても期待が高まります。

竹内東部防災会会長によると、訓練後の防災課、都、コンサル、東部防災会、学校長・副校長による反省会でも、これから取り組むべき目標、具体像が見えてきたということでした。

予告

新年おめでとうございます

吉祥寺東コミュニティセンター九浦の家を「ご愛用くださってありがとうございます。小型館ですが、気持ちの良い窓口対応と、地域課題への取り組みは当協議会として自負しております。企画事業も多数のご参加があり、好評でした。

本年もよろしく願っています。
九浦の家代表 小林 宏

◇わいわい広場一月23日14時

桜堤児童館共催 小学生

◇九浦おもちつき 百人一首
一月27日(日) 11時つきはじめ

◇昔あそび大会(あそべえ主催)
二月3日(土) 14時本宿体育館等

◇ついで

*一月24日(水) 19時半

「地域と学校の連携」

*二月28日(木) 19時半

「東町の昭和史」東十一小路

*三月28日(木) 14時 九浦ロビー

紅茶セミナー 森田麻美さん

紅茶インストラクター(キリパニ)

◇九浦コンサート チェロ田沢俊一氏
三月16日(土) 14時、ホール

東町(吉祥寺東部)ニュース

今年には紅葉が美しかったです。山茶花の垣根も今年は一際的美しさ。

◎宮本小路にも一丁目の高圧線付近にもムクドリ行列が見られませんが、情報お願いします。

◎夕方まるけん食堂が行列です。TVで紹介されました。

街づくりができるのは、

本宿はとの子発表会と三中くぬぎ祭



↑本宿小名物の全校演奏。一年生の後ろに五・六年生が立ち、体の成長も確認できます

十月26・27日の三中くぬぎ祭は、二年学年劇、三年クラス劇3つとも自分に向き合うテーマ。シナリオから衣装、音楽、照明プランも自分たちで。テーマも「夕鶴」時代とは違う上、劇中にダンスが入ったり、こった照明だったり、全部見てしまいました。最後は音に聞く三中のブラスバンドでしめくく。撮影できなかったので、三中のホームページを見てください。

十一月10日本宿小「はとの子発表会」保護者鑑賞日には、60周年記念式典で発揮した力をそのまま発表に。一・三・五年が歌と楽器、二・四・六が劇。音楽は、一年生から上級にすすむ過程で様々な楽器が自分たちで作ったかぶり物と衣装で。六年ライオンキング

どう習得され、複雑な合奏ができるようになるのか理解できる構成でした。左上写真は6年劇ライオンキング。ダブルキャスト。ライオンキングのハイエナの群れは素晴らしい表現でした。

外環地上部街路問題

第12回外環地上部街路に関する話し合いの会が十月4日19時から商工会館で行われ、やっと本題に入れそうになりました。しかし、都の構成員が時として構成員としてでなく、事務局として都の主張を述べることに對して、第1回の申し合わせと違う旨の苦情が出ました。9回から11回の議事録確認がこの日合意を見ました。再度の現場視察を求めている石原知事の辞任で、外環道地下化(知事と扇大臣で消えたと思われた地上部道路があるという計画の拠所がばやけたままになりそうです。次回第13回は、新都知事になって二月に開催見込みです。

前に進みたい 東町二丁目道路問題

十一月二日住民集会

東十一小路他女子大通りに面する小路の抜け道化を止めたいと平成18年から吉祥寺東コミニテイ協議会も共に市、警察に掛け合ってきました。二年半前、警察から全小路右折禁止案の打診があり、この案に対する賛否の署名を対象世帯の9割方、48世帯分(8割同意2割反対)を戴きました。昨23年月にこのまとめを武蔵野警察に提出しました。警察で審議の上、公安委員会に上申し判断を求めるとい

う説明でした。しかし、その後武蔵野署の人事異動で、担当課長は4名代わられ、長く担当した係長も今年十月異動で、経過説明にこの集会に出席する約束が流れました。

本工事が始まる合流改善施設

ポンプ場跡地に建設中の施設の見学会を十一月10日に実施。すでに天井部分も完成して箱状になっています。法政跡地は、十一月14日からケーン工法で底部分になる50mの底板と下に付く刃口の工事が始まり、一気にやる必要から女子大通りを西に日にミキサー車60台が4日程往復しました。遅れ気味で土曜にも工事がありません。



九月29日、三中運動会。全校リレーです。15名のムカデ競走もありました。来場者は616名。

▼東町事件事故九月～十一月末
人身事故 一丁目5、二丁目3、三丁目1、四丁目0計9件、5件は車対車、その他は車と自転車、自転車と人など(ほとんどがすり傷)
物損事故 一丁目5、二丁目0、三丁目3計7件(7件は車対車、車対自転車3件、他対物)
事件犯罪 九月～十月末(侵入盗 東町は1件、車上狙1件、振込め詐欺1件)
▼十一月に東町で侵入が多発。全てアパートの一階でベランダの掃出し窓の鍵の辺りを割られています。侵入されないが窓を割られたのが一丁目と三丁目の2カ所。ワイヤー入りガラス、又はガラスに飛散防止シートを貼る、シャッターを閉めるなど予防を！
▼十月中旬二丁目夜間後から来た自転車の男がスカートの上からお尻をさわる1件。自転車の男が下半身を露出1件。
▼女子大通り(ミストツブ刃物強盗は、集金後というと帰った(未遂)。
◎東町の火災 十二月18日までなし。
●急報。19日朝五日市街道三丁目14で発砲事件発生。詳細は警察が調査中です。

そこで生活する私たちです。

本宿小六十周年

街中に金木犀の香る十月20日、一年生から六年生まで、全校生徒28名が呼び掛け掛け演奏する「ハッピーバイバースデイ本宿小」が式典会場いっぱい響き、胸に届いて共鳴する。

- ① ハッピーバイバースデイ本宿小
- ② 60周年 記念の日
- ③ 皆で「こころ」いつもありがとう
- ④ 元気がいっぱい笑顔もいっぱい
- ⑤ 60歳おめでとう 100歳めざそう
- ⑥ みんなで遊んで 皆で笑って
- ⑦ 60歳の本宿小これからもよろしく



↑上級生の演奏に合わせ涙が出ても熱唱する一年生
一、副校長、校長、同窓会長の後ろに全児童が描きこんだボード

ジョンは、2番高学年3番低学年4番中学年の応募作から。邑上市長、山上教育長、菊池市議会議長ほか12名の来賓を迎え、子どもたちが心から祝う60周年記念日でした。佐々木校長は一回生の高田誠二さんが届けた60年前の学校便りを手に、掲載の校歌作詞者武田雪夫氏の童話「こじか」とまつぎを紹介し、小鹿を生徒に、松の木を親やその親のこともずっと知っていて子どもを受け止めてくれる学校の関係と伝えました。地域の人でもある教育委員長の折折さんは、登下校の子どもの表情を見ながら地域は学校を支え、何気ない日常が本宿小をつくってきた。地域の要であり拠点である本宿小を支える皆さんに感謝し、思いやれる優しさをもって誇り高く成長できることを願っているとお祝いの言葉を贈りました。

最後は「この学校は故郷です」と全員で故郷と校歌を合唱。

祝賀会では歴代校長の思い出話に拍手がわき、全児童の笑顔の自分(似顔もあるけど動物や花で表現したもの)を描いた青少協とのコラボ作品写真(青少協寄贈)、貴重な写真のある学校沿革史ボード(PDF寄贈)に見入る人も。同窓会からはテントが贈られました。コラボ作品は今後プール壁面に飾られるそうです。何年後かのお楽しみ。これ私と言わなければ誰さんだかわからないのが味噌です。

東部福祉の会 九月30日

吉祥寺東部フェスティバル いざという時、暮らして役立つ お役立ち情報満載

折悪しく台風の予報があり、連絡を取りながら、最後は30分繰り上げました。でも、今年は起震車も抽選に当たって確保でき、震度7を体験してもらえました。

若いボランティアさんも多く、お役立ち情報や展示を読むともらえるポイント5つで出来る抽選が人気(写真下)。防災課職員の指導で、物を運ぶのにも素早いジグザグ並びのバケツリも体験しました(写真上)。



◎店舗でないためキャッチが遅れましたが女子大通り宅配トンカツ木曾屋が六月頃南町南病院ビル1階に移転。

◎三丁目の方から西狭伏見通りの店舗につき問合せがありました。魚の魚多は骨董屋西隣に移転狭いが今後はここで営業。豆腐屋すでに閉店。杉並病院東隣に「茨城のつかの里」がオープンしました。

◎高齢者ご愛用のサンロードのナチュールハウスが十月28日で閉店。

◎四軒寺交差点右折ライン設置のため拡幅にかかる、みずず建設東隣の設計事務所が十月既に更地化。

◎十月末美大通り、九浦の家初代代表音楽家と真さんの「和ホール」が、建替えのため取壊し。かつて本宿「コートラス」も和さんの指導をうけました。

◎建設中の下水合流改善施設南隣の桜の古木が防音壁設置後枯れました。

◎五日市街道富士家具、十月中旬に大規模改装。今回も素敵なレイアウトです。

◎四丁目の小美濃米店、ご夫妻とも高齢のため十一月10日をもって閉店。南町での親の代から84年、ここで昭和27年新所帯で開店、以来55年でした。サンロード突き当たりマップ十二月16日閉店。17年の営業でした。

◎十一月25日青少協の「ほんじゅくフレンドパーク」は子どもと父母や地域の人28名の参加。恒例の本宿クイズに加え、バケツリゲームもしました。

◎成蹊大学理工学部システムデザイン学科が、24年度も吉祥寺東町の通過交通問題の対策に取り組んでいます。

◎吉祥寺駅中央口の改札が2階東向きにかわる。南への通路はまだ遠回りです。

吉祥寺の杜ワークショップ

元の面影を残す植生を生かすためメッシュ調査の要望がありました。ワークショップ委員の実地踏査では、幹線道路沿いという場所柄と今年の猛暑水不足など条件が悪く実現しませんでした。

十一月6日、都市計画公園決定説明会で、公園名が「吉祥寺の杜 宮本小路公園」に決まり、同月21日のワークショップで、最終的な公園計画は、ここでの意見を参考にして市が決めることが伝えられました。ただ、ワークショップの話し合いの中心は8割方共通しており、左の二つです。

- ①子どもが自由に遊べる広場も設ける
- ②残すべき自然を保護する部分を取る

この二つを専門家がどう図面に落とし込むかです。残りは防災関連設備で、市と住民に温度差があり、防災トイレ以外は市は踏み込んでいない印象ですが、今後議論になると思われます。ペト用トイレを推す意見もありました。

バス研修は新エネルギーを

十一月28日新エネルギーを学びに、24年一月末開設の甲府市南部ゆめソーラー館やまなしへ。バブル

期に工業団地開発したまま未使用だった米倉山丘陵地を、東電が県と共同でメガソーラ発電に使ったもので、従来のシリコン素材より進化した、気温が高くても発電能力が落ちにくいCIS薄膜化合物の

パネルを、影によるロスを小さく風に負けぬよう斜度を小さく並べるなど特色があります。約三千四百世帯に電力を供給中。除草は社員扱いのヤギです。太陽光発電は広大な面積が必要なので、都市部では屋根の活用しかありません。

石和の古柏園で昼食と入浴、山梨中央銀行金融資料館でお金の歴史をみっちり勉強しました。袖の下百両の重さ、千両箱を担いで屋根を走るなど無理なこととも実感。一見をお勧めします。

バス研修四日後に笹子トンネルの天井崩落事故が発生。一寸先は闇。

「武蔵野の空襲と戦争遺跡」

東京で最初に空襲を受けた武蔵野市。

昭和19年十一月24日は武蔵野市が東京で初めて爆撃された日です。昨年武蔵野市平和記念の日に決まりました。十一月22日のつどいは、牛田守彦法政大学中・高校教諭のお話。

空襲は陸・海軍の戦闘機エンジンをつくっていた中島飛行機武蔵製作所に、十一月から翌年八月8日まで9回あり、工場内の死者220名。周辺にも犠牲者が多数出ました。七月には柳沢にパンキン型原爆模擬爆弾が投下されました。工場では5万人ぐらゐ働いて、中学や女学校(旧制)約40校から三千人が動員されていました。

市内には東伏見神社の慰霊碑、源正寺の傷ついた墓石、延命寺境内の不発弾、戦争犠牲者の名が刻まれた平和観音の台座(貴重)、武蔵野女子学院(現武蔵野大学)の散華乙女の碑などがあります。中島の工場があったことで子どもも含め周辺に大きな犠牲者が出ました。地域の

状況を調べることで戦争を身近な問題として実感できると考えます。このような歴史の教訓に照らして平和的な解決を目指すことが重要です。

九月29日

第3回シンガポールの戦略

教育・人材導入にみられる

池田充裕山梨県立大准教授

17知ろうアジアシンガポール編

淡路島の面積に四百万が住む無資源の都市国家が、豊かさを保持しながら生き残るために一党独裁の人民行動党が採った戦略が、独立初期は言語民族別だった初等中等教育を統合し、授業用語を英語に統一し、労働市場の要求に即応する人材育成です。90年代以降は高度な知識・技能と指導力を備えた人材の供給機関へ大学をソフトさせ、産官学連携で現在は世界の頂点に立つ教育研究拠点を目指す。更には東洋のポストンを目指し、マサチューセッツ工科大や浙江大など海外超有名カレッジとの提携大学でアジアの優秀な留学生を集め、米中を結ぶ教育を目標としている。



池田先生上がるボルテージ

第4回シンガポールの将来展望

岩崎育夫拓殖大学教授

第1回に謎解きのように、不思議な国シンガポールの全体像を語って、感動的な講義だった岩崎先生2回目の登場です。

シンガポールは全国統一テストの厳しい選別の上位250名を国家に役立つ人材として教育し、卒業すると官僚やほぼ国営の企業に戦略的に配置することで、その他の国民から不満を出させない分配が可

能な経済的利益を生み出しつづけて来た。東南アジア経済の本部を自認するシンガポールも、今次の戦略に悩んでいるそうです。詳しくは記録をお読みください。

東コミ局
センターから
お知らせ
13.01.01

▼今年も三月最終週コミュニケーションセンタースタンプラリー。この期間暖かいお茶を用意します。木曜に紅茶セミナーも行います。

▼事務室のエアコンが遂に作動せず、新品に取換えました。前の70%の大きさで軽量。酷使してきたピアノ買い替えを検討中。

▼停電用ナイトライト、ランタンを備え付け。

▼「地域防災計画修正案検討委員会」の提案につき、当コミセンで出来ることを一月のコミ研連に提出します。昨年三月地震後に運営委員会で協議したガイドライン、平成16年総会の災害時の方針など蓄積があります。コミセン自己点検評価集約を一月5日実施。

▼十月28日囲碁大会、十一月24日カルタ大会無事終了しました。

▼十月30日、健康体操全市21会場参加者交流会で九浦の家は準優勝でした。

▼十一月18日フリマ盛会。来館者30名。

▼奇数月第四水曜14時三遊亭橋也さん、偶数月第三水曜14時上方落語立川雲水さん。上方落語のこころで感。

▼利用者の靴やコートの間違いが連発しています。人数が多い時は、靴は袋へ。ハンガーは室内に置いてください。

▼武蔵野社会教育を考える会財政勉強会作成武蔵野市民財政白書、武蔵野はすみよ、まちよ。九浦の家で販売しています。

▼年末年始、十二月28日～一月4日の間休館いたします。